

小学校6校、中学校2校を全4回で紹介します。

市内小中学校 英語教育の紹介

2020年（平成32年）に向けて、文部科学省による新たな英語教育として、小学校3年生から外国語活動の必修化、5年生からは教科となるなどの計画があります。グローバル化に対応できる人材の育成をめざし、英語によるコミュニケーション能力を確実に養うことをねらいとしています。

市では、「英語教育強化地域拠点」として文部科学省の指定を受け、新たな英語教育の実現のための研究開発に先行して取り組んでいます。“Use English and Challenge the World！”を合言葉に、コミュニケーションを基盤に置いた言語活動をしていくことで、実践的な英語力を身につけ、英語で考えや気持ちを伝え合おうとする子どもたちの育成をめざしています。

研究に取り組んでいる市内各校の英語授業の様子をご紹介します。

▼問い合わせ先 学校教育課 学校教育係

取組みの様子

写真1 東小学校

アルファベットのFをペアで作っているところです。文字の形を紙面だけでなく、身体を使って覚えようとしています。小諸では小学校3年生からアルファベットが書けるように学習しています。

写真2 東小学校

Fの発音練習をしているところです。英語の文字の読み方は音読みとアルファベット読みの二つがあります。毎回の授業で5分～8分程度、文字と音声の一致を図るための練習を重ねています。

写真3 小諸東中学校

中学生になって、英和と和英の辞書が使えるようになります。辞書を引ながらクイズを作る課題を行っていました。単語レベルから文章レベルへと、飛躍的に言語操作力をつけるのが中学校の英語です。

東小学校

小諸東中学校



【写真1】

今回は「東小学校」と「小諸東中学校」の2校を紹介します。小学校の豊かな取組みが中学校でさらに発展するように先生たちは、日々取り組んでいます。小中学校の連携も大切にしています。



【写真2】



【写真3】

小・中・高の接続を視野に入れて

小諸市の子どもたちは、小学校1年生から少しずつ英語に慣れ親しむなかで、先生も子どもたちも共通の目標を持って、英語学習に取り組んでいます。

子どもたちは、それぞれ小学校や中学校を卒業する頃の「なりたい姿」を目標として設定し、先生たちは子どもたちの英語力がより向上するよう常に研究をしています。

小学校から中学校へ、中学校から高校へと常に英語教育を連携させていくことで、英語力を身につけていきます。



小諸東中学校

小栗先生の授業より

What's this ?

Let's try 4 words quiz !

Summer / Sound /

Night / Blood

The answer is

m

ヒント：Mから始まる8文字の言葉
答えは、このページの右側をご覧ください。